日本善行会の歴史をふりかえる（その3）

（上）昭和 31 年 11 月 3 日　内閣総理大臣官邸での善行表彰受賞者

昭和 37 年 11 月 3 日　内閣総理大臣官邸（左）表彰状を受ける外国人受賞者と（右）日本人受賞者

会員の皆様　新型コロナウイルスの感染が全国に拡大し、大変憂慮されております。くれぐれもお気を付けてお過ごし下さいますようお願い申し上げます。

令和二年度春季・秋季善行表彰式は新型コロナウイルス感染拡大のため中止になりました。一日も早く新型コロナウイルスの感染拡大が収束し、来年の表彰式が開催されることを願いまして、今回の《**歴史をふりかえる**》は昭和三十一年十一月三日と三十七年十一月三日に内閣総理大臣官邸で開催された表彰式での写真を掲載しました。昭和三十八年からは春季・秋季善行表彰式を明治神宮参集殿で開催しておりますが、それ以前の表彰式は、昭和二十六年から都庁ホール、日比谷公会堂、内閣総理大臣官邸等で開催していました。

明るいニュース

一般社団法人
日本善行会

〒100－0006
東京都千代田区有楽町
2-10-1 東京交通会館内
TEL（03）3212－6996
FAX（03）3212－6998
URL:http//www.zenkoukai.or.jp
メール：info@zenkoukai.or.jp

毎月1日発行
編集発行人　相澤　克也

善行は、社会を照らすともしび。

受賞者の喜びの声

善行金章を受賞して

福岡県行橋市　平川　貴史

この度、栄えある特別善行金章を賜り心から御礼申し上げます。

受賞までの四十数年間、私の活動を理解され御支援、御協力をいただいた関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

私の活動は、柔道教室を通じて幼児から小学生、中学生、高校生等、青少年の非行防止、健全育成、いじめ防止等を目的とし、昭和五十二年から地域神社で活動を始めたが、生徒数の増加で昭和六十二年四月、自宅に柔道場を建設、以来現在まで完全奉仕活動を続けています。

活動を始めて以来、いこの後、全員で唱和してきたのは、「一、礼儀正しくします」「二、けをつけます」「三、勉ます」「四、みんなとくします」です。

少子化の現在も生三十名、指導員五名動を続けています。

今年は、コロナ禍の中で活動も大変でしたが、協会などの指導を受けながら実施しています。

今回の受賞で私の感じることは「善行の継続」です。

私は、若い指導者を育成し、いつまでも今の柔道教室が続けられるよう努力、邁進する覚悟です。

善行表彰を受賞して

京都府京都市　安達　昌成

この度は、思いがけず令和二年度秋季善行表彰を賜り、心より感謝申し上げます。

子供が小学校三年生の時にボーイスカウト活動に子供と共に参加するようになり、以来四十年余りにわたり、リーダーから始まり地区委員・連盟役員と微力ながらご奉仕させていただいてきました。

最近では区役所の主催行事でボーイスカウトとして担当し、区民の皆様を対象に、ふれあい広場コーナーを開催し、スカウト活動に対する理解と好評を得ています。

近年は新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動が規制され、ハイキングやキャンプなど画が中止されているが多いですが、三密を避け野外活動を中心に各活動も徐々に再開されるようになってきました。来年こそはスカウト達の活動する元気な声が聞きたいと願っています。

最後になりましたが、日本善行会の皆様のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。

善行表彰を受けて

北海道遠軽町　渡辺　勉

この度、令和二年度秋季善行表彰を賜り、衷心よりお礼申し上げます。

遠軽のロータリークラブに入っておりますが、メンバーの方々それぞれの人達が地域に貢献されている事で、表彰されている事をうれしく思っていました。本年度、私にお話があり辞退しましたが、再度お話がありましたので、お受けしました。三十歳のころホームステイを始め（五年間位）多様の文化、風習などを学び、子供たちの勉学の一部になったと思います。

また、当町には自衛隊があり、家族を含めると3千人位になり、町の発展に寄与している事が大きいと思っております。何とか恩返しをしたく、部隊の活動での音楽隊、遠軽がんばう太鼓をさえたく思い、長く役員活動をさせていただいております。私は会社の役員として、地元に出来ること（社員を含む）は何かと思い、会社の利益の中より少しではありますが、寄付をさせていただいております。お世話になっております事、役職員感謝しております。

今回の表彰を受け地域の為に再度取り組んでいきたいと思います。

ありがとうございました。

善行表彰を受けて

栃木県那須塩原市　沢登　進

この度、思いもかけず令和二年度秋季善行表彰を賜り、心から感謝申し上げます。

我々は昭和五十八年より、那須野が原の開拓の歴史を太鼓の音に託し、和太鼓演奏を行う那須野ケ原疎水太鼓です。発足後の昭和五十九年には地元の、「栃木県立那須拓陽高等学校疎水太鼓部」の育成指導を開始し、翌年の昭和六十年より地元の「那須塩原市立西小学校」の児童を対象とした子供疎水太鼓を発足させ育成指導を行ってまいりました。

両事業とも那須野ケ原疎水太鼓の後継者育成を目的とした活動として、今年まで約三十六年間指導育成を続けております。両校で経験した児童・生徒たちは六百名を超えるまでとなりました。

これからも青少年の活動のため、聞かせどころを意識して演奏しているか等、指導する保存会メンバーにとっては、毎回自分の指導について振り返り、足らなかったところを次回の稽古で指導する。その繰り返しで子供たちや高校生たちを成長させてまいりました。

今後も活動の成果を観客の皆様にお見せできますよう指導してまいります。

最後になりましたが、善行会本部や支部の皆様の益々のご発展を御祈念いたします。

※本会は善行精神の普及と善行の実践を通して明るい住みよい社会環境づくりにつとめております。会員会費と個人・企業・地方公共団体からの助成金により運営されております。広く会員を募集しております。